

育成のとびら

(第68号)

令和6年7月
発行 練馬区青少年育成
大泉西地区委員会
〒178-0064
南大泉5-26-19
(南大泉地域集会所内)
TEL 3922-1124

つなごう地域の輪

大泉第二小学校・大泉第三小学校・大泉第四小学校・大泉第六小学校・大泉西小学校・大泉西中学校

新たな環境で

会長 鈴木 昌一



こんにちは。
この度会長に就任しました鈴木昌一です。よろしくお願ひいたします。

コロナ禍により失われていた4年間を振り返り、今はだいたいコロナ禍前に回復しているように見えますが、学校や保護者、地域の環境は、私がPTA会長をしていた20年前より大きく変化してきたように見えます。

これからの青少年育成活動も今の時代に合わせた活動を模索する必要があるのでないでしょうか。子どもたちの未来や安全を考え、子どもたちが自主的な想像力を働かせる事業に取り組んでいきたいと思ひます。

そのために保護者の皆様、学校、地域の皆様のご協力が必要となりますのでよろしくお願ひいたします。また、中学生ボランティアの皆様にも大いに青少年育成の事業にかかわっていただくことを望んでおります。最後になりますが私のできるだけの努力をいたしますので、委員の皆様のご協力をお願ひいたします。

令和6年度 総会

5月21日(火)
南大泉地域集会所

午前11時、49名の委員が出席して、総会が開催されました。

はじめに、内堀高子前会長から関係者に感謝しての挨拶がありました。次に、小島青少年課長、区議会議員、校長先生など来賓の皆様から、ご挨拶をいただきました。

今年度は地区委員の改選年度で、練馬区長の委嘱状が代表者に交付されました。続いて、永井政夫副会長を議長として、議案が審議されました。新役員の選任が承認され、鈴木昌一新会長の挨拶と役員紹介がありました。次に、令和5年度の事業結果、決算、会計監査について報告。また、令和6年度の事業計画案、予算案について提案があり、審議の結果、すべての案件が承認され、総会が終了しました。

引き続き、懇親会が32名の参加で開催され、昼食をとりながら和やかに懇談し、委員の交流を深めました。



新しい役員・委員の紹介

会長

鈴木昌一

副会長

久保有子

会計

鈴木賀子

会計

鈴木賀子

会計監査

永井政夫

顧問

山田敏枝

相談役

山田敏枝

顧問

山田敏枝

相談役

山田敏枝

学校長

山田敏枝

参与

山田敏枝

環境部長

高橋靖子

体育部長

堀内啓子

文化部長

高橋俊顕

広報部長

山田敏枝

委員

森 裕加

土井健一

内堀雅巳

岩本照美

田村美津子

長島良介

伏見武夫

三ヶ崎清政

佐藤万帆

柄澤恵芬

廣田文世

石井康幸

中川智子

豊 哲男

藤澤陽子

畠山春香

高瀬綾子

松野千尋

高橋恵美子

須賀ゆりえ

村上夢衣

下前祥恵

中村実樹

引口直子

野瀬喜義

炭谷拓美

朝日美智子

寒竹国俊

前原憲二

弓座圭一

大塚久美子

高橋竹男

奥田美弥子

木村美紀子

米田康彦

後藤勝彦

内田美緒

森下理恵

一噌ひかる

三留広和

坂部彰子

竹本綾乃

漆山 静

田中江麻

関口倫加

昨年度で退任された委員の方、ご協力ありがとうございました。



振り返って

前会長 内堀 高子



先日育成の
総会で新会長
以下、役員が
承認されホッ
としていると
ころです。コ

ロナ禍の中で、皆様のご協力のもと無事に終えたことに感謝しております。この場をかりて御礼申し上げます。

コロナ禍前に少しずつ戻り、イベントが再開し、子どもたちの笑い声が多く聞こえてきます。これからも工夫しながら、学校もPTAも一緒にあって、子どもたちの育成にかかわっていただけたいと思います。

私がPTA、青少年委員、地域のボランティアを経験して思うことは、親が子どもとかわる時期は小学校までです。近年働く保護者が多くなり委員確保が難しくなっていますが、一つでも参加して思い出づくりをしてみたいかがでしょうか。大泉西地区委員会もいろいろのご意見を取り入れながら頑張っております。

皆様の健康と活動を願いながら、また微力ながらお手伝いできればと思っております。

4年間、ありがとうございました。

ようこそ大泉西地区へ

地域に愛される学校
そして子どもたち



大泉第二小学校
校長 関根 幸男

令和六年四月一日に、大泉第二小学校に着任致しました関根幸男です。どうぞよろしく願います。練馬区との縁は深く、住まいは石神井町です。練馬区内の学校で、合計二十年の教員生活を送ってきました。

先日、歴代PTA会長主催の歓迎会がありました。数十名の方が参加してくださいました。そして、参加されている歴代PTA会長、そして、町会長の皆様が、口々に学校愛を語られていました。こうした多くの方々を支えられて、学校が成り立ち、子どもたちが育てられていることを強く感じました。また、改めて、歴史と伝統の重さと責任を痛感しました。このことは、大泉第二小学校に限ったことではなく、大泉西地区全体に言えることなのだと思います。大泉西地区の皆様には、これからも学校、そして子どもたちが、大変お世話になります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

地域の一人として



大泉第四小学校
校長 岩崎 広明

梅津前校長の退職に伴って四月一日に大泉第四小学校に校長として着任した岩崎広明です。三月までは土支田にある豊溪小学校で五年間校長をしていました。梅津前校長先生を初めとする歴代の校長先生の思いを引き継ぎながら、さらに子供たちにとって素晴らしい学校にするべく尽力したいと思っています。

私は小学校に入るまで宮城県石巻市で育ちました。当時は近くに海水浴場（後に漁港になる）がありましたので、地域の方々と海で遊んでいたことを覚えています。子供たちの健全育成のためには、家庭、地域、学校が協力、連携し合うことが必要です。地域の中で育つことで地域に対して愛着が生まれ、成長したときに地域に恩返しをしようという気持ちも起こります。地域の中の学校の一人として、地域を愛せる子供を育てられるよう努力していく所存です。どうぞよろしくお願ひいたします。

地域との連携



大泉西中学校
校長 櫻井 弘

今年度四月、練馬区立石神井中学校より異動してまいりました。皆様、よろしくお願ひいたします。私は大泉西中学校が、生徒にとって登校することが楽しみな学校、保護者の皆様にとつて安心して登校させることができる学校、そして、地域の皆様から暖かく見守られ、また、生徒が地域で活躍できるような協力していただける学校でありたいと願っています。

先日、着任後初めての運動会がありました。生徒一人一人が競技や係活動など自分の責任を果たすことに加え、協力が必要な場面ではお互いに声をかけたり応援したりして取り組んでいる姿から中学生の持つパワーを感じました。生徒にはこの中学生期において、主体的に考え、積極的に挑戦する態度を大切にしてほしいと願っています。地域の皆様との連携により、その機会や活躍できる場をより多く整えていくことができたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。

これからの事業予定

令和7年	12月	11月	9月	令和6年
13日(月) 凧あげ大会	7日(土) 俳句教室(第2回)	11月上旬 サツマイモ収穫体験	23日(月) 親子ウォークラリー	10日(土) 17日(土) 18日(日) 少年野球大会
25日(土) 人形げき	8日(日) 中学生野球大会	23日(土) 親子ミニ運動会		
				

俳句教室

7月7日(日)
南大泉地域集会所

第1回俳句教室が行われました。33℃を超える暑さの中、17名の子供たちが元気に参加しました。講師の先生は秋元紀子先生です。今回の俳句の題材は「うめぼし」と「トマト」。

俳句の基本をわかりやすく丁寧に教えていただきました。その中で何より大事なものは「心、気持ちです」とおっしゃっていました。

子供たちは用意されたうめぼしやトマトを実際に触ったり嗅いだりして、心に浮かんだ気持ちののびのびと自由に俳句にしてみました。

最も大切にしているのは「感性」です。いわば、子供が全身で感じる内容です。例えば、よい香り、つるつるしている、固い、やわらかい、何だか美味しそう等です。

俳句教室で大切にしていること

俳句教室講師 秋元 紀子
(元北町西小学校校長)



出します。次に大切にしているのは、「言葉を磨くこと」、「一人一人に即した成長」です。そのため、できるだけ個別に導くようにしています。

そこで初めに必ず、実物に触れるようにしています。季節や場所等の条件から限られた物になりますが、これまで、栗、きゅうり、稲穂と米等を用意しました。子供は「きゅうりは森の匂い」「稲穂の花も見えなくなった」等、感じたことを基に言葉を生み

てを貫く基底に「意欲喚起」を据えます。そのため、失敗から学ばせる、学びを実感させる、人と比べさせない等に留意しています。子どもが夢中になって俳句作りに挑めるよう、今後も指導に努めてまいります。



環境部講演会

6月28日(金)

南大泉
地域集会所

災害に備えて

環境部講演会が、30名の参加で開催されました。

一月一日に発生した能登半島地震をはじめ各地で地震が多く起きているように思います。そこで今回は、練馬区の区防災課の成瀬研区民防災第二係長を講師としてお迎えし、災害に備える・必要な備蓄用品について、講演をお願いいたしました。

ダンボールベッド作り



簡易トイレと椅子作り



安心ストック

非常時、ライフラインが途絶えたとしても、何日間かは自宅でのしるべき物品を備蓄しましょう！

- 食料や飲料水は、最低3日間分、できれば1週間分。
- ライフラインが止まった家で被災生活を過ごすことになるかもしれせん。家族構成にあったストックを考えましょう。



日常備蓄のおすすめ

日常備蓄

- 日頃から自宅で利用しているものを少し多めに備えることで、発災時にも、自宅で当面生活することが可能になる

ローリングストック法

- 多目に食材を購入する
→定期的に食べる
→減った分を買戻す



日帰り委員研修

7月5日(金)

つくば市方面

この日は、梅雨の中休みとはいえ、朝から気温はうなぎのぼり。厳しい暑さの中、17名の参加者で出発しました。

今回の目的は、産業技術総合研究所つくばセンターです。

初めに「地質標本館」を見学しました。「地質標本」というと、難しく聞こえます。しかし、ガイドツアーに参加し、地球の歴史や日本の地質・地層や地震、鉱物など私たちの生活とのかかわりなどについてわかりやすく説明していただき、「地学」を身近に感じました。

次にサイエンススクエアに足を運びました。ここは、最先端の科学技術を紹介している「産業技術のシヨールーム」です。人間の言葉に反応するアザラシ型セラピーロボットを抱いて



アザラシ型セラピーロボットを抱いて

ポットの精巧さは驚きです。

今回の研修では、人間と自然のかかわりを学んだり、科学の不思議さに気づいたり、近未来の生活をちよっぴり体験する貴重な機会になりました。

編集後記

「育成のとびら68号」をお届けします。原稿をお寄せいただいた皆様に感謝申し上げます。

今年度の広報部は、15名のメンバーでスタートしました。子供が参加する事業については、学校委員(各校のPTA選出の委員)が分担して取材し、広報誌に載せるようにしています。6月に予定していた写生会は残念ながら雨で中止。写生会の記事の構成や写真の配置などのレイアウトも目の目を見ることなく、事業の中止は、広報部泣かせです。

秋には、3面にもあるようにさまざまな事業が目白押しです。事業が順調に実施されることを願っています。そして子供たちの輝く笑顔をお届けしたいと思います。

親しみやすい広報誌にしてください。ご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。



- 山田(部長) 三ヶ崎 藤澤
- 内田 松野 竹本 村上 田中
- 深堀 前野 岩田 野口 新
- 小林 腰前